

『昭和大学における口唇口蓋裂治療』

熊本機能病院 形成外科40周年記念講演会

6月28日(金)昭和大学形成外科主任教授で33年前に当院でも勤務歴のある門松香一先生をお迎えしハイブリット形式にて開催いたしました。40年前にスタートした昭和大学との連携は、当院で年間約100例の口唇口蓋裂術に引き継がれています。美容面も大事ではあるが、患者さんの負担を考慮し以前より手術回数を減らした治療を行うことや口腔内の機能改善に対する治療が重要という昭和大学における最新の治療法をお話いただき、大変学びとなりました。



ナースカー運行中

当院救急看護師が病院救急車に同乗し、申し送りを受けます。クリニック、かかりつけの病院、福祉施設等へお迎えに参ります。



救急センターホットライン

☎ 096-345-8131

☎ 096-345-8111(代表) 受付時間 / 月～金 9:00～16:30

転院のご紹介、ご相談は 私たち医療連携部が担当いたします

医療連携部へのお問い合わせ

☎ 096-345-8111(代表)

受付時間 / 月～金 8:30～17:00



子ども食堂
「ナナイロカフェ」が
スタート!



熊本機能病院 外来予約センター

はいキュウゴ

☎ 096-345-8195(直通)

受付時間 / 月～金 8:30～17:00

受付時間

月～金

8:30～11:00 / 13:00～16:00

休診日

土曜 / 日曜 / 祝日 / 年末年始

●急患については上記にかかわらず救急センターにて診療いたします。

KUMAMOTO KINOH HOSPITAL
熊本機能病院

〒860-8518 熊本市北区山室6丁目8-1
TEL 096-345-8111(代表) / FAX 096-345-8188

熊本機能病院公式サイト
https://www.juryo.or.jp/



KUMAMOTO
KINOH
HOSPITAL

28

2024. NOVEMBER

熊本機能病院ホスピタルレター

キノウトアシタ

KINOH TO ASHITA

地域とともに、明日をつなぐ

特集

「手の外科」

当院は1981年の開設以来、確かな機能再建を目指し取り組んでおります。



手の外科

Surgery of the Hand

- 切断された組織の再接合
- 手のしびれ、痛みの治療
- 欠損した組織の修復
- 粉碎骨折の修復、固定
- 失われた運動機能の再建
- 先天異常の治療

手や指の確かな機能再建を目指した手術とリハビリテーションを行います

外傷性切断肢（指趾）再接着の実績

（対象）2004年4月～2023年3月（19年間）

部位	症例数	肢指数	完全切断	不全切断	再接着術（施行率）	生着数	生着率
前腕	4	4	3	1	2(50%)	2	100%
手	31	31	18	13	15(48%)	12	80%
指	380	384	317	67	292(77%)	268	92%

指切断は、77%で再接着術を行い、**92%の生着率**を得ました。

※第27回日本臨床救急医学会（2024年7月）にて報告

神経再生チューブを利用した神経再生治療



約2～4か月後に体内で分解、吸収されます。外傷等により断裂・欠損した末梢神経の再生が適応です。

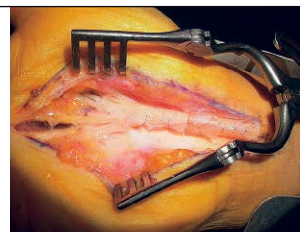
術後の正中神経伝導検査にて、速度の短縮と振幅の増大を認め、**日常生活に支障がない状態に改善**しました。



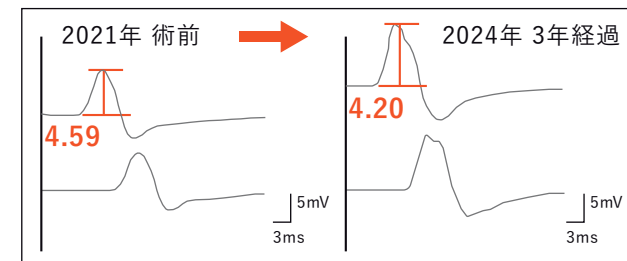
院長(手外科)/寺本 憲市郎

症例

〔71歳男性〕
右手根管開放術後、しびれの残存あり来院。右正中神経損傷を認め、神経再生チューブによる神経再生誘導術施行。



神経再生誘導術後



主な手術症例

（対象）2023年4月～2024年3月

疾患名	症例数
手根管症候群	121例 うち 直視下59例 鏡視下62例
ばね指（腱鞘炎）	153例
橈骨遠位端骨折	122例
肘部管症候群	26例

Topic

内視鏡を使用した手根管開放術

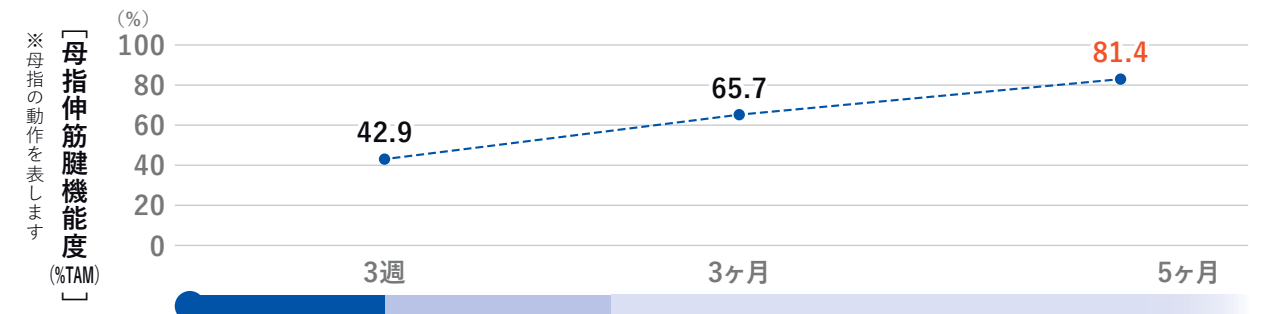


局所麻酔で約15分の日帰り手術が可能です。キズが小さいため、術後の有痛性瘢痕が起きにくいのがメリットです。

当院の手術後のリハビリ（機能再建に向けて）

症例

〔60歳代男性〕のこざりが母指にあり左長母指伸筋腱断裂を受傷。右母指の**80%以上の動きを再獲得**。固有示指伸筋腱から長母指伸筋腱への腱移行術を施行。



期間	術後1日目～3週	術後3週目～8週	術後8週目～
目的・目標	鎮痛緩和 癒着予防 ROM【関節可動域】改善	癒着剥離 腱の滑走改善 ROM改善	生活での患手使用 力を入れて握る動作ができる 職場復帰
OTによる訓練回数	3回 / 日	1～2回 / 週	1～2回 / 週
内容	患部外ROM 炎症管理方法指導 夜間ポジショニング 指導 など	手指自動ROM 漸次的ブロック運動 ADLで患手の使用開始 癒着剥離動作・物理療法 など	ブロック運動 ADL・IADL練習【高負荷】 個別ニーズに応じた練習 癒着剥離動作・物理療法 自動車運転支援・職場復帰支援 など
スプリントの装着	アウトリガースプリント	スプリントなし	必要に応じて スプリント作製

リハビリテーションの流れ

ハンドカンファレンス

手外科医師、作業療法士等スタッフで全例の詳しい症例検討を行います



手の外科 外来担当

	月	火	水	木	金
午前	中島英親(予約制) 最高顧問／日本マイクロサージャリー学会名誉会員 日本整形外科学会専門医 日本手外科学会専門医 長井卓志 〔日本整形外科学会専門医〕	寺本憲市郎 院長 日本整形外科学会専門医 日本手外科学会専門医 宮地有理 〔日本整形外科学会専門医〕	長井卓志 杉原祐介	中島英親(予約制) 宮地有理 杉原祐介	寺本憲市郎 酒井和裕 非常勤医師 〔健和会大手町病院〕
午後	中島英親(予約制) 長井卓志 杉原祐介 〔日本整形外科学会専門医〕	寺本憲市郎 宮地有理	長井卓志	中島英親(予約制) 宮地有理	寺本憲市郎 酒井和裕

ご紹介は予約センターにてお受けいたします

☎ 096-345-8195 (平日8:30～17:00)

※当院は一般社団法人日本手外科学会認定研修施設です